

令和6年12月24日

「花粉採取と受粉作業の省力化を可能にするスマート農業
技術の開発」シンポジウムを開催します

令和7年1月24日（金）に千葉県内（ホテルポートプラザちばロイヤル）にて、花粉採取・受粉技術開発コンソーシアム（代表機関：鳥取大学）主催による「花粉採取と受粉作業の省力化を可能にするスマート農業技術の開発」シンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」事業で研究開発を行ってきた果樹類の受粉作業の省力化に関わるスマート農業技術を全国に発信し、さらなる発展の契機とすることを目的としています。

【概要】本コンソーシアムでは全国の14機関が産官学で連携し、果樹類の受粉作業の省力化に繋がる技術開発を行っています。国内で生産されている多くの果物は、自身の花粉による受粉では結実しない機構をもっているため、他品種の花粉を使っての人工受粉が必須となっています。しかしながら、多大な労力が掛かる花粉の採取作業と受粉作業はほぼ同時期に行わなければならないため、両作業の省力化に繋がるスマート農業技術を開発しました。

【日時】令和7年1月24日（金） 10:00～12:00

【会場】ホテルポートプラザちば ロイヤル （千葉県千葉市中央区千葉港8-5）

【参加者】現地120名

国内の果樹生産が安定して行えるよう、全国の果樹の研究者ならびに生産者の方々に研究成果を広く公表するシンポジウムとなります。ぜひとも取材・報道いただきますよう、よろしく願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

鳥取大学農学部 竹村

電話 0857-31-6749

Mail y-takemura@tottori-u.ac.jp



「花粉採取と受粉作業の省力化を可能にする スマート農業技術の開発」 シンポジウム

日時 令和7年1月24日（金）10：00～12：00

場所 ホテルポートプラザちば ロイヤル



挨拶・概要説明

鳥取大学農学部 竹村圭弘

1. 花粉採取適期判定システムの開発

電気興業株式会社 藤沼亮太

2. 自走式花蕾採取機の開発

鳥取大学農学部 野波和好

3. 機械走行に適した樹形の開発

埼玉県農業技術研究センター 島田智人

4. 純花粉精製機の開発

鳥取大学農学部 大崎久美子

5. ドローン受粉システムの開発

日本工業大学基幹工学部 平栗健史

6. 花粉採取と受粉作業の経営評価

鳥取大学農学部 木原奈穂子



主催 花粉採取・受粉技術開発コンソーシアム

